

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島市中区富士見町PRJ	階数	地上22F
建設地	広島県広島市中区富士見町11-4,11	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	2,848 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年4月 予定	評価の実施日	2020年2月13日
敷地面積	6,403 m ²	作成者	近藤伸也
建築面積	5,280 m ²	確認日	
延床面積	48,206 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (230 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 77% (177 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 77% (177 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 77% (177 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.5
Q2 サービス性能: 3.2
Q3 室外環境(敷地内): 2.3
LR1 エネルギー: 3.5
LR2 資源・マテリアル: 3.1
LR3 敷地外環境: 2.6

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

音環境	3.5
温熱環境	3.1
光・視環境	3.1
空気質環境	4.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	4.0
耐用性	2.9
対応性	2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

生物環境	2.0
まちなみ	2.0
地域性	3.0

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	4.2
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

水資源	2.2
非再生材料の	3.5
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

地球温暖化	3.9
地域環境	2.0
周辺環境	2.1

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.1

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.4	スコア = 2.0	スコア = 2.8
設計の計画上特段に配慮した事項 // 照明器具はLEDの採用で消費電力の軽減になるよう努めた。 // 既存建築躯体の一部を山留として再利用している。躯体と仕上げが容易に分別可能としている。/ 外壁面・屋根面に断熱材を採用し窓はペアガラスを採用しCO ₂ の削減。	設計の計画上特段に配慮した事項 / 適切な量の駐車スペースを確保し、車が待機できる十分な車寄せを確保している。また、管理用サービスヤードを一般車動線から分けて計画している。	設計の計画上特段に配慮した事項 一般的に用いられる建材を使用し、標準的な耐用年数を確保している。/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される